



図書館だより

札幌市立新川中学校
第3号 2024.11.15
学校司書 林 真知子

新着本が入りました！ ～みなさん、本を読みましょう。～



11月も半ばになり、朝晩寒くなってきましたね。今は、落ち着いて本を読む時期です。図書館のほうにも今年度第2回目の新着本が届いています。今回は今、注目されている人気の本をたくさんそろえました。きっとあなたにふさわしい本が見つかるはずですよ。ぜひ、見に来てくださいね。

= 新着本の紹介です = (11/15から借りられる予定です。)

【小説】

- ・河崎秋子『愚か者の石』(小学館)・・・『絞め殺しの樹』に連なる直木賞受賞作家の圧巻の長編監獄小説。
- ・千早茜『グリフィスの傷』(集英社)・・・「傷」をめぐる10の物語を通して「癒える」とは何かを問いかける。
- ・桜木志乃『谷から来た女』(文藝春秋)・・・アイヌの血を引く主人公を、彼に関わる人たちの視線で描くストーリー。
- ・万城目学『六月のぶらぶらぎょう』(文藝春秋)・・・『八月の御所グラウンド』で直木賞を受賞したばかりの作者の最新作。
- ・町田そのこ『わたしの知る花』(中央公論新社)・・・77歳で孤独死した老人の、誰も知らない波瀾に満ちた意外な人生とは？
- ・小手鞠るい『答えは旅の中にある』(あすなろ書房)・・・中学生2人の男女がすれ違う時を描いた多文化を優しく体験できるお話。
- ・如月あずさ『給食アンサンブル』2(光村図書出版)・・・それぞれに悩みを抱えた6人の中学2年生。彼らの胸にひそむほんとうの気持ちを、給食が教えてくれる。『給食アンサンブル』1は図書館にあります。
- ・関口英子『桜の木の見える場所』(小学館)・・・失明の恐怖と戦いながら、周囲の温かさに気づき、勇気を得ていく少女の葛藤を優しく描く。作者の実体験を基にした物語。
- ・恩田陸『夜明けの花園』(講談社)・・・湿原に浮かぶ檻、と密かに呼ばれていた全寮制の学園。ここでは特殊な事情を抱える生徒がしばしば行方を晦ます。
- ・神永孝『マガツキ』(PHP研究所)・・・都会に暮らす平凡な人々を襲う怪異、「それ」の正体とは。
- ・間宮改衣『ここはすべての夜明け前』(早川書房)・・・九州の山奥の小さな家に1人住む、おしゃべりが大好きな「わたし」は、これまでの人生と家族について振り返るため、自己流で家族史を書き始める。
- ・浅倉秋成『家族解散まで千キロメートル』(KADOKAWA)・・・家族の〈嘘〉が暴かれる時、本当の人生が始まる。どんでん返しの家族ミステリー。
- ・阿部暁子『カフネ』(講談社)・・・女性2人の交流を通して描かれる、誰かを思う気持ちが心に沁みる。
- ・小林由香『魔者』(幻冬舎)・・・誰も知らないあなたの過去が、もし、小説で暴かれていたら・・・。
- ・一木けい『彼女がそれも愛と呼ぶなら』(幻冬舎)・・・高校生の主人公には秘密がある。恋は楽しいのか、つらいのか？心揺さぶる長編恋愛小説。



- ・七月隆文『天使の跳躍』(文藝春秋)…知られざる将棋のタイトル戦を舞台に繰り広げられる、感動の人間ドラマ。
- ・古矢永塔子『夜しか泳げなかった』(幻冬舎)…ある高校教師の赴任校に覆面小説家の生徒が転校してきた。
- ・多崎礼『夢の上』(中央公論新社)…夜の王に「夜明け」を願い出た夢売りが取り出したのは、六色の宝玉。

注目！！ 今、人気の本

- ・井上真偽『アリアドネの声』(幻冬舎)…巨大地震発生。地下に取り残された女性は、目が見えず、耳も聞こえない。光も音も届かない絶対的迷宮。
- ・辻村深月『あなたの言葉を』(毎日新聞出版)…これから大人になる人たちへ、作者と一緒に考える。自らの体験を元にまっすぐ語りかけるエッセイ集。
- ・藤の木優『-196℃のゆりかご』(小学館)…主人公の女子高生は幼い頃に父と母を亡くし、義母に引き取られる。2人との距離を置く関係を描く。
- ・今村昌弘『明智恭介の奔走』(東京創元社)…大学生である主人公とその相棒が、学校内もしくは学校外で起きた小規模な事件の謎を解き明かす物語。
- ・二宮敦人『サマーレスキュー 夏休みと円卓の騎士』(文藝春秋)…行方不明の幼馴染を捜すために、少女たちはアナーキーなオンラインゲームに飛び立った。中学生たちのひと夏の大冒険。
- ・乃南アサ『マザー』(講談社)…5人の母の物語が描かれる5つの短編集。
- ・乾ルカ『灯』(中央公論新社)…この世界を私は一人で行きたい。わかり合えない母親や、うざいクラスメート。誰とも関わらず一人で行きたい、と考える高校2年生が主人公。札幌が舞台の作品。
- ・降田天『少女マクベス』(双葉書店)…学内一の天才と謳われた劇作家希望の女子生徒が、自身の「マクベス」の上演中に舞台から不審な転落死を遂げる。
- ・宮部みゆき『子宝舟』(PHP研究所)…難事件に挑む江戸人情捕物語。イラストが多数添えられている。
- ・ヴィクトール・E・フランクル『夜と霧』(みすず書房)…心理学者であった著者が、 Auschwitz強制収容所内における体験をつづったもの。



【教科関連本】

- ・切替一薫『中学校で習う歴史が教えられるほどよくわかる』(ベレ出版)
- ・渡辺潤一『賢治と〈星〉を見る』(NHK出版)
- ・『作家さんと日本の古典を読んでみた』全3巻 (ポプラ社)
- ・『買い物の基本を知ろう』(童心社)
- ・塚田英晴『野生動物学者が教える キツネの世界』(緑書房)

【みなさんからのリクエスト本】

- ・やまもとりえ『うちはマブダチ』(KADOKAWA)
- ・澤村御影『准教授高槻彰良の推察』(角川文庫)…異能をもつ准教授と大学生による謎解きミステリー。テレビ化された。シリーズ本。

【文庫本】

- ・プレイデイみかこ『他者の靴を履く』(文春文庫)…『ぼくはイエローでホワイトで、ちょっとブルー』の大人の続本編！「自分が生きやすい」社会に必要なものとは？
- ・河崎秋子『土に贖う』(集英社文庫)…明治時代の札幌で蚕が桑を食べる音を子守唄に育った少女が見つめる姿。
- ・池井戸潤『花咲舞が黙ってない』(中央文庫)…地位なし、権力なし、怖いものなしの花咲舞が銀行内の悪事にぶつかり倒す。テレビ化される。
- ・斎藤美奈子『挑発する少女小説』(河出書房文庫)…『若草物語』『赤毛のアン』『小公女』など少女が主人公となっている小説群。大人になって読む少女小説は発見に満ちている。

【絵本】

・町田尚子『なまえのない猫』（小峰書店）・・・ある日、名前のない猫がお寺の猫に「自分で好きな名前をつければいいじゃない」と言われ、名前を探すことに。この猫の「ほんとうに欲しかったもの」とは？

小中学生に向けたニュースをわかりやすく解説。図表や写真、イラストがたくさん！ 受験にも役立ちます。廊下のテーブルに置いてあります。ぜひ、手にとってみて！

月刊誌「News かわかる」(毎日新聞出版)11月号

一特集「世界が注目 アメリカ大統領選」